

CONTENTS

はじめに	3
本書の読み方	5

第1章

イスラームの成立

第1幕	イスラームなき「暗黒時代」とは？	
	ジャーヒリーヤ時代	13
第2幕	もたらされた富はいったい何を生んだのか？	
	アラビア半島の経済的發展	21
第3幕	不遇の幼少時代、そして結婚の末…	
	開祖ムハンマドの生い立ち	29
第4幕	長い瞑想修行の中、それは突然やってきた！	
	ムハンマドの天啓と布教	39
第5幕	絶体絶命のピンチ！ ムハンマドの運命はいかに！	
	ヒジュラ 聖遷	51
第6幕	いざ、イスラームの命運を決する戦いへ！	
	メッカ征服	59

第2章 正統カリフ時代

- 第1幕** 正統なる後継者はいったい誰に？
初代正統カリフ 67
- 第2幕** そして「聖戦」が始まる
第2代正統カリフ 75
- 第3幕** 「郷に入っては郷に従え」
イスラームの異民族統治 83
- 第4幕** ウマル凶刃に斃れる！ 後継者騒動勃発
イスラームの権力闘争 91
- 第5幕** ウンマの私物化、ここに至れり
第3代正統カリフ 97
- 第6幕** 大本命、ついにカリフの座に就くも…
第4代正統カリフ 107
- 第7幕** 天下分け目のスッフィーン、神のご加護はどちらに！
正統カリフ時代の終焉 113

第3章 ウマイヤ朝時代

- 第1幕** 世襲カリフ時代の幕開け、そして「カーバの呪い」
ウマイヤ朝の成立 121
- 第2幕** 「岩のドーム」の真相
ウマイヤ朝の文化事業 131
- 第3幕** 激減する税収 そのワケは…
ウマイヤ朝の税制改革 139
- 第4幕** 決定的な分裂、いったい何が違うのか？
スンニ派とシーア派 147
- 第5幕** 続々と生まれる派閥の論理
系図から見るシーア派 153
- 第6幕** 唐(中国)を目指して突き進め！
ウマイヤ朝の東部膨張 163
- 第7幕** トウル=ポフティエ間の戦へ
ウマイヤ朝の西部膨張 169

第4章 アッバース朝時代

- 第1幕** **ウマイヤ家のお家騒動に忍び寄る影**
アッバース朝の成立 177
- 第2幕** **血塗られたパーティー**
初代アブル＝アッバース 185
- 第3幕** **次々と繰り出す改革 ムスリム平等政策**
第2代アル＝マンスール 191
- 第4幕** **母と家庭教師の陰謀**
ヤフヤー専横時代 199
- 第5幕** **積年の憎しみを晴らす時がきた！**
ハルン＝アル＝ラシード 207



第5章 イスラーム分裂

- 第1幕** **あの時の金髪碧眼の青年がいま！**
アッバース朝の解体 213
- 第2幕** **“自称”カリフたちの登場**
ファーティマ朝の勃興 223
- 第3幕** **天下統一への野望**
ファーティマ朝の絶頂 231
- 第4幕** **“辺境の地”から 一大躍進の秘訣あり**
サーマーン朝 237
- 第5幕** **イチかバチかの大勝負 “窮鼠、猫を噛む”**
ブワイフ朝 245
- 第6幕** **謀反の嫌疑をかけられた男は！**
ガズニ朝 255
- 第7幕** **中央アジアに一人の英主現る**
セルジューク朝創業期 261
- 第8幕** **名宰相、国に尽くして果てる！**
セルジューク朝絶頂期 267

Column コラム

預言者とは	38
ムハンマドが目撃したもの	74
奇蹟とは	90
アーイシャ首飾り事件	96
腐ってしまえの章	106
もし初代カリフが…	146
イスラム圏の名前	168
新説・つぶらな瞳の処女	176
六信五行とは	222
カダルとは	230
神の啓示の信憑性	244
暗殺教団アサッシン	276

あとがき

277